

## 6. 主な報道発表 (2022年5月9日以降)



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。

-	主な報道発表はありませんでした
---	-----------------

## げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらから げんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

- ◆「わたしたちのデイリースタイル No.23」ビーズ・レザー・かご  
5月31日(火)～6月5日(日) 最終日は16:00まで  
ビーズ工房(代表:田中 喜美江 様)の皆さまによるビーズ, レザー, かごなどの作品展です。クラフトテープ, レザーを使ったバッグや小物, ビーズのアクセサリなど243点を展示中です。
- ◆衣紋の会作品展 よろこびの装いと和の布遊び 6月21日(火)～26日(日)  
西公民館で活動されている衣紋の会(代表:井上 弘子 様)の8名の皆さまによる作品展です。日本文化の節目として着る着物や, 帯や着物で作られた小物など110点を展示予定です。
- ◆長谷 俊雄作品展「旅をする蝶」 6月28日(火)～7月3日(日) 最終日は15:30まで  
当ギャラリーでは7回目となる長谷 俊雄 様による作品展です。今回は旅をする蝶として知られているアサギマダラの写真や標本, 蝶をモチーフにした作品60点を展示予定です。



**お問合せ**  
げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16  
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603  
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日  
※新型コロナウイルス感染予防対策のため, 開館時間を短縮しています。  
<http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/fureai.html>



◀感染防止徹底宣言ステッカーを取得しています

## ご存じですか? クリアランス Vol.3

今回は、「クリアランスレベルと身の回りのものとの放射線量の比較」についてご説明します。

クリアランスベンチ(脚部)と身の回りの物(自然放射性物質)の放射線量を比較してみました。クリアランスレベルは, 身の回りのものと同じ程度の値です。放射線測定器\*で測っても, 自然の放射線量と変わりません。

### 【クリアランスベンチ(脚部)の放射線測定】



クリアランスベンチのこの部分



※放射線測定器ベータちゃん  
物質から放出される放射線量を測る測定器です。1分あたりに計測された放射線の数(CPM)を読み取ります。

▲ベータちゃんメモリ拡大

### 【身の回りの物の放射線測定】



干しシイタケ

約 50 カウント

園芸用肥料

約 300 カウント

**【クリアランス制度】**  
原子力発電所の解体などで発生する廃棄物のうち, 放射性物質の濃度が極めて低く人への影響が無視できるレベルで, 国による測定結果の確認を得たものはリサイクル可能な一般の廃棄物として取り扱えるようにする制度。人への影響が無視できるレベルは, 1年間に受ける放射線の量が0.01ミリシーベルト(自然から受ける放射線の1/100)。

本資料の作成元・お問合せ先: 日本原子力発電株式会社(略称: げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部  
TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2-9-16



# げんでん いんぷおめーしょん 6月号

2022年6月1日  
No.214

## 1. 敦賀発電所の状況 (2022年6月1日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機(沸騰水型)	●2017年5月15日より廃止措置工事中(廃止措置期間:24年) ○2015年4月 営業運転終了 廃止措置とは, 運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し, これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し, 更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機(加圧水型)	電気出力116.0万kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1922億9908.3万kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ●新規規制基準への適合性確認審査対応中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。

### = 敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について =

原子力規制委員会による審査は, 現在, 敷地内破砕帯評価と地震動評価(地震の揺れ)の二つの論点について進められています。

2020年2月の敷地内破砕帯評価に関する審査会合において, 敷地北側にある断層(K断層)と2号機原子炉建屋の直下にある破砕帯との関連性について当社から説明したところ, 審査資料に当初記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し, 詳細データとなる顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて, 不適切であるとのご指摘を受けました。

ご指摘を受けた件については, 審査とは別に品質保証に係る検査として確認していただくことで, 審査を継続していただいておりますが, 2021年8月18日に開催された原子力規制委員会において, 「調査データに基づく当社の評価結果の信頼性が確保されるために必要な業務プロセスの構築が確認されるまでの間は, 審査会合を実施しない」という方針が示されました。

当社は, 原子力規制委員会の決定を重く受け止めるとともに, 審査の進展を期待していただいている地域の皆さまに多大なるご心配をおかけしていることを, 心より深くお詫び申し上げます。

業務プロセス構築の取組み状況について10月26日の公開会合でご説明しましたが, 11月2日の原子力規制委員会において, 今後の進め方として「当社が社内規程改正などの改善活動を終了し, 審査資料の準備ができた段階で再度検査し, 検査結果を規制委員会に報告すること」が示されました。

当社は準備が整ったことから, 2022年5月24日および25日に, 改正した規程に基づく業務プロセスの実施状況などについて検査を受けご確認いただきました。

敦賀発電所2号機は, 当社の経営の柱であることから, 引き続き検査でのご指摘に真摯に対応し, 品質管理の継続的な改善を図ってまいります。

## 2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況 (2022年6月1日現在)

現在, 原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況 (2022年5月27日撮影)

### 3. トピックス

#### (1) 敦賀発電所 熱中症予防対策の取組み

敦賀発電所では、熱中症の発症リスクが高まる5月から9月末までの熱中症警戒期間において、熱中症予防対策として暑熱作業に関する構内ルールおよび熱中症予防三原則<sup>\*</sup>の遵守に係る啓蒙活動や、現場などでの給水所および保冷剤用冷凍庫の運用などの取組みを行っています(給水所および保冷剤用冷凍庫の運用は10月末まで)。

この活動の一環として5月11日に、当社、関係会社および協力会社の社員を対象に、外部講師を招いて「熱中症予防指導員・管理者研修」を開催し、職場における熱中症の特徴や熱中症が発生する仕組みと症状などの基本的知識、熱中症を予防するための作業環境管理や健康管理、熱中症の救急措置などについて学習しました。

敦賀発電所では、熱中症に関する知識を深め、熱中症ゼロを継続します。



#### ※熱中症予防三原則

- ・水分・塩分の定期的な補給
- ・こまめな休憩
- ・体調不良者を就労させない(体調が悪い時は申告する)



「熱中症予防指導員・管理者研修」の様子

#### (2) 美浜・五木ひろしふるさとマラソンに協力

5月8日、「第34回美浜・五木ひろしふるさとマラソン」が3年ぶりに開催されました。今回は、参加者を県内在住者に限り規模を縮小して行われ、ウォーキングや10キロランなどの4部門に参加された約500名の方々は、爽やかな五月晴れのもと、風光明媚な若狭湾国定公園の海岸線のコースを楽しまれました。

当社は、運営スタッフの一員として参加し、スタンプラリー形式となっているウォーキング部門のスタンプ対応やラン部門の給水サービスを行いました。

これに先立ち、4月26日には、本番に向けてマラソンコースの清掃作業が実施され、当社も他の地元企業の方々とともに清掃に参加しました。



ウォーキング部門のスタンプ対応



当社社員もウォーキング部門に参加しました



地元企業の方々と清掃作業(4月26日)

### 4. コミュニケーション活動

#### (1) ふれあいトークを実施

「げんでんふれあいトーク」は、当社社員が皆さまのところに伺いして原子力発電に関することをわかりやすく説明し、コミュニケーションを深めさせていただく活動です。

4月16日、敦賀原子力館にご見学にいらした福井市越廼公民館の皆さまと「ふれあいトーク」を行いました。当社から、敦賀発電所の近況



写真上：ふれあいトークの様子  
写真左：敦賀原子力館見学の様子(福井市越廼公民館さま)

や安全対策などの説明、VRによる敦賀発電所2号機説明のあと、皆さまと意見交換を行い、タービンを回した後の蒸気の冷却方法や発電所の立地条件などのご質問をいただき、活発な意見交換をさせていただきました。

### ゴールデンウィーク (2) “きいばす”「G.W.フェスタ 2022」に協力

美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」において、5月3日から5日、「G.W.フェスタ 2022」が開催され、当社は5月3日にブース出展しました。

当社は、「ダンボールで動物貯金箱を作ろう」「クリアランスベンチや身の回りのものの放射線を測ろう」や、美浜原子力緊急事態支援センターの「遠隔操作ロボットの模型を動かそう」「ドローンを模擬操縦しよう」のコーナーを設置し、約350名の皆さまに楽しんでいただきました。



いぬ、ねこ、トラなど、かわいい貯金箱を作りました



ダンボールで貯金箱を作ろう!

また、クリアランス制度や美浜原子力緊急事態支援センターの活動のことを紹介するよい機会となり、ご来場の皆さまと幅広くコミュニケーションをとることができました。

当社は、これからも地域の行事に積極的に参加し、皆さまとのコミュニケーションを深める活動に取り組んでまいります。



クリアランスベンチの放射線を測ろう!  
(「測定器」の詳細は、本紙P4をご覧ください)



遠隔操作ロボット(模型)でボールをつかめるかな?



ドローンを操縦している気分!

### 5. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、29コースの公開研修を計画しています。以下はお申込み期限が近づいている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QRコード<sup>\*</sup>または下記URLから当社ホームページをご覧ください。

なお、今後の新型コロナウイルス感染の状況によっては、開催の中止または延期などなる可能性がありますので、ご了承ください。

<sup>\*</sup>QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

<http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>



敦賀総合研修センター

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
ヒューマンファクターコース	人はエラーを避けられません。人間の特性を知り、仕事の中でのエラーを防ぐ対策を講じることが大切です。本研修では、人間の基本特性や集団特性などを理解するとともに、現場作業時のヒューマンエラー(人に起因する誤り)の防止方を学びます。ヒューマンエラーの防止方を学ぶことは有益なことであり、広く一般の方にお勧めします。※2日間コースですが、1日単位での受講も可能です。	7月19日(基礎) 20日(管理・事例)	6月9日
クリアランス入門コース <sup>*</sup>	原子炉施設の廃止措置などに伴い、「放射性廃棄物として扱う必要がないもの(クリアランス)」が多く発生します。それらの概念やクリアランス測定方法などクリアランスに関する基本的な知識を学びます。	7月28日	6月17日
原子炉施設廃止措置コース <sup>*</sup>	廃止措置の概要や法制度とともに、廃止措置の基礎となる放射能評価、廃棄物の処理・処分や解体撤去技術など、廃止措置の先行例を含め廃止措置全般について学びます。	8月9日、10日	6月30日
原子炉施設廃止措置工事学習コース <sup>*</sup>	原子力発電所構内において、廃止措置工事に初めて従事するうえで必要となる発電所ルールの概要、技量や手法、工事要領検討について講義と実習により学びます。	8月16日、17日(AM)	7月7日

<sup>\*</sup>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本コースについては、発電所見学を中止する場合があります。

なお、発電所見学の可否につきましては、ホームページを随時更新してまいります。

公開研修に関する  
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター(敦賀市沓見165号9番地6)  
電話: 0770-21-9700 FAX: 0770-21-9726(応募申込み専用)  
メールアドレス: tsuruga-tr-center@japc.co.jp